



PRESS RELEASE (2009/07/03)

九州大学が、グローバル30の国際化拠点大学に選ばれました。

概要

「留学生30万人計画」実施に向けて、文部科学省が平成21年度から開始する「国際化拠点整備事業（グローバル30）」に九州大学が採択されました。本年度は、全国で13大学（国立7、私立6）が採択され、九州大学は九州地区で唯一の採択大学。本事業により、留学生の募集から企業への就職を含む出口までの一貫した国際化拠点整備事業を大学全体が一体となって推進し、アジアを代表する世界的研究・教育拠点大学としての機能を強化することを目指します。

■背景

国際化拠点整備事業（グローバル30）

知識基盤社会のグローバルな進展により、経済・産業も地球規模での展開が要請される時代となっています。また、国境を越えた学生・教員・研究者の流動性が高まり、国際競争力の向上は我が国の将来を決定付ける課題です。このような中、政府は平成20年7月に、2020年（平成32年）を目途に、現在の約3倍となる30万人の留学生受入れを目指す「留学生30万人計画」を決定しました。さらに、「留学生30万人計画」の実現と、留学生を惹きつける魅力ある大学づくりを目指して、国際化の拠点となる大学を選定し重点的な育成を行う「国際化拠点整備事業（グローバル30）」が平成21年度から実施されることとなりました。

留学生を惹きつける魅力ある大学づくり

九州大学は知の世界的拠点大学として、特に歴史的、地理的な深いつながりを背景としてアジア地域を重視し、多くの留学生を受け入れるとともに、大学間、研究者間において活発に学術交流を行ってきました。これらを土台として、次期中期目標・計画では、「アジア諸国との歴史的つながりや地理的近接性を活かした世界的研究・教育拠点」として、次の100年に向けて知の新世紀を拓くべく、教育、研究、診療等の諸活動を展開する」ことを掲げています。この目標に向け、英語による教育課程の整備・充実、留学生受入数の増加、外国人教員の増加などを実現していきます。

今回の「国際化拠点整備事業（グローバル30）」への参画は、九州大学がこれまで推進してきた世界的拠点大学化構想に向けて、中期目標・計画の実現のための大きな後押しとなるものです。今回、初年度の13の拠点の一つに採択されたことにより、「留学生を惹きつける魅力ある大学づくり」を加速させ、「留学生30万人計画」実現に寄与し、アジアを代表する世界的研究・教育拠点大学としての機能をさらに強化していきます。

■内 容

2 学部及び全大学院に英語コースを設置

学士課程では、当面、工学部、農学部の 2 学部、大学院課程では、すべての大学院（17 学府）で、英語だけで学位取得可能なコースを開設します。日本留学試験や現地オフィスの活用などで、渡日前に入学が決定できるシステム整備、高度人材養成の一環としての就職支援を充実させます。

留学生の受入体制を整備

また、伊都新キャンパスに留学生と日本人学生の混住宿舎「国際村」を新設するなど受入体制を整備するとともに、福岡県・福岡市など地域との連携により支援体制も充実させます。

受入重点国を設定し留学生を 3 倍に

今回、受入重点国として、中国、韓国、インドネシア、台湾、ベトナム、エジプト、タイ、オーストラリアの 8 カ国・地域を設定しました。これらの国・地域には、海外事務所を整備し、優秀な学生の獲得に取り組みます。また、九州大学では、エジプトに、日本の大学全体の留学生の受け入れの促進につながる支援を行う「海外大学共同利用事務所」を設置します。

これらの施策により、平成 32 年度末には留学生数を平成 20 年 5 月現在の 1, 292 人から約 3 倍の 3, 900 人とします。同時に、外国人教員数も現在の約 3 倍の 350 人とし、大学全体のグローバル化を進めます。グローバル世界でリーダーシップを取ることのできる日本人学生の育成にも力を注ぎます。

■将来目標

本事業の成果を基盤として、平成 32 年度までに、全学部横断的に英語による教育を行い留学生と日本人学生が共に高度な教養を学ぶ「国際教養学部」の創設を構想しており、今後さらにアジアを代表する世界的研究・教育拠点大学としての機能を強化し、グローバル化する世界における日本の大学の国際競争力向上に貢献します。

【お問い合わせ】

国際部 秋山（国際部長）、臼杵（留学生課長）、松川
電話：092-642-3870, 2138, 7012
FAX：092-642-4273
Mail：intlkaigai@jimu.kyushu-u.ac.jp

機 関 名	九州大学
<p data-bbox="164 143 513 174">[国際化拠点の構想の概要]</p> <p data-bbox="164 192 826 224">構想の背景と理念：世界的研究・教育拠点を目指して</p> <p data-bbox="164 232 1430 443">九州大学は1911年に創設され、教員(定員内)2,224人、職員2,607人、学生18,647(うち留学生1,292人)を擁し、毎年度、修士約2,000件、博士約570件の学位を授与するとともに、科学研究費補助金約1,500件のほか多くの競争的研究資金を獲得するなど、高い教育研究水準と実績を有している。本学は「人間性の原則」「社会性の原則」「国際性の原則」「専門性の原則」の教育理念に則り教育を推進するとともに、地理的・歴史的な特性を活かしアジア重視戦略を展開している。特に、グローバルCOEプログラム等を通じて、国際共同研究や国内外の優れた若い人材の育成に取り組んでいる。</p> <p data-bbox="164 452 1430 694">知識基盤社会がグローバルに進展し、経済・産業も地球規模での展開が当然に要請される時代となり、国境を越えた学生・教員・研究者の流動性が高まる中で、国際競争力の向上が我が国の将来を決定付ける課題となっている。このため、本学は平成23年の創立100周年を機に、九州に世界の研究者と学生が集約する魅力ある拠点を創出するべく、次期中期計画に一層の留学生交流の拡大と外国人教員・研究者の受入増などを盛り込み、今後5年間で留学生の入口から出口までの一貫した国際化拠点整備を行い、世界に開かれた教育研究環境を構築する。その成果の上に平成32年度までに、全学部横断的に英語による教養教育を行う国際教養学部(仮称)を創設し、アジアを代表する世界的研究・教育拠点大学を目指す。</p> <p data-bbox="164 712 560 743">国際化拠点整備事業による取組</p> <p data-bbox="164 761 946 792">①人材育成の理念と実現方法：国際キャンパスの構築を目指して</p> <ul data-bbox="164 801 1430 1079" style="list-style-type: none"> ●留学生が本学の特色ある優れた専門科目の修得だけでなく、日本文化理解など魅力ある教養科目の修得が可能なカリキュラムを設計する。これにより、真の日本理解に基づき、国内外の産業界、国際機関、教育・研究機関等で活躍できる国際的な人材を育成する。 ●産業界や国際機関等で活躍する外部有識者から成る「国際化外部有識者委員会」を設置し、国内外で活躍が期待される留学生像を諮問し本学の教育に反映させる。 ●本学学生による「国際化学生委員会」を設置し留学生と日本人学生との交流を促進するとともに、異文化理解や外国語でのコミュニケーション力を強化するプログラムの充実、交換留学や海外留学制度の拡充により、日本人学生を含めたキャンパスの国際性を向上させる。 <p data-bbox="164 1088 946 1120">②優秀な留学生の獲得：九州大学独自の国際ネットワークの活用</p> <ul data-bbox="164 1128 1430 1411" style="list-style-type: none"> ●アジア6か国・地域(中国・韓国・台湾・ベトナム・タイ・インドネシア)にオーストラリアとエジプトを加えた受入重点国を設定し、本学が有する海外オフィスの整備・強化により、留学希望者へのプロモーション活動、優秀な学生の発掘、書類審査や面接等により厳正な選抜試験を現地地を実施する。また、ベトナム、エジプト等を本事業の海外大学共同利用事務所とし、他大学とも協力して我が国への留学の促進・支援を行う。 ●国際的に活躍する本学の「スター研究者」から成る「国際化100人委員会」を設置し、研究者個人のネットワークを通じて、海外有力大学の教授からの推薦などにより、全世界から優秀な留学生を獲得する。 ●優秀な学生を継続的に受入れ手厚い教育を行うことにより、留学生受入数の目標として、平成25年度までに2,300人(1,000人増)以上、平成32年度には現在の3倍の3,900人に拡大する。 <p data-bbox="164 1420 1031 1451">③国際水準の教育体制の整備：英語コースの新設・拡充と教員の国際化</p> <ul data-bbox="164 1460 1430 1706" style="list-style-type: none"> ●英語授業のみで学位が取得できるコースとして、学士課程では農学部と工学部で新設するとともに、大学院課程(学府)では全学府で開設する。学部英語コースは全学的な国際教養学部(仮称)に発展させ、留学生と日本人学生が共に高度な教養を学ぶコースにする。 ●外国人教員については、本学独自の「Distinguished Professor(主幹教授)制度」による国際的に著名な教授の招聘などにより、大幅な増員を行う。 ●日本人教員の国際化のために、国や研究支援機関の若手研究者海外派遣事業等を活用して教員を海外へ派遣し、海外の大学での教育手法や授業スキルをFD等により学内に波及させる取組を実施する。 <p data-bbox="164 1715 954 1747">④留学生受入環境の整備：大学と地域が一体となった支援の強化</p> <ul data-bbox="164 1756 1430 1930" style="list-style-type: none"> ●渡日後の留学生に対しては、日本語教育を行うとともに、福岡県・福岡市など地域の自治体と定期的な連絡・協議を行い、地域の企業や留学生支援組織との連携を強化して、安全・安心な学業生活を支援する。 ●統合移転が進む伊都キャンパスに留学生と日本人学生の混住宿舎などを「国際村」として整備し、大学と地域が一体となった受入環境を構築する。 ●「G30プロジェクトオフィス」を設け、教員、事務職員、部局の枠を超えた全学実施体制を整備する。 <p data-bbox="164 1939 935 1971">⑤卒業後の進路支援：学内外の連携による実効性ある出口支援</p> <ul data-bbox="164 1980 1430 2119" style="list-style-type: none"> ●本学の海外オフィスや留学生同窓会組織を通じた就職支援を行う。 ●「国際化外部有識者委員会」による国内外での就職広報活動を展開する。 ●「国際化100人委員会」による企業への就職支援や大学・研究機関の研究者ポストへの斡旋を行う。 <p data-bbox="188 2087 1158 2119">福岡県・福岡市など九州各県の自治体や地元企業との協力による就職支援を行う。</p>	

[国際化拠点の構想の概要]

世界的研究・教育拠点としての九大の確立

留学生30万人計画への貢献

国際教養学部の新設

達成目標

留学生数 3,900人
外国人教員数 350人
教員海外派遣 4,500件
日本人学生派遣数 400人

優秀な留学生の獲得

受入重点国



支援・連携
地域自治体・地域産業

学士課程国際コース新設 大学院国際コースの開設
(工学部・農学部) (全学府)

国際社会の現状と課題
知識基盤社会
グローバル化
競争と連携

九大のリソース(強み)

- ・アジア重視の伝統
- ・教員の国際ネットワーク
- ・大学の国際ネットワーク
- ・地域社会との連携
- ・豊富な教育改革プログラム(GP)
- ・世界レベルの研究・教育実績
- ・英語による既設コース(工学系、農学系、総合理工学、法学系)
- ・英語による既設短期受入プログラム(JTW、ATW、AsTW)

九州大学のこれまでの取組
留学生数 1,292人
アジア重視戦略
各種国際化事業

留学生拡大のシミュレーション

